





Share(シャレ)からアイデアを生み出す方法、Share(シェア)します。

アイデアは既存の要素の新しい組み合わせでしかない。ジェームズ・W・ヤングの著書「アイデアのつくりかた」には、そう記されています。その観点でいえば、異なる意味の言葉を組み合わせて生まれたダジャレは、まさにアイデアそのもの。私たちはそこに着目し、新しいアイデアやイノベーションをつくるためにダジャレを用いる手法を「ダジャレノベーション」と名付けて様々な分野で実践中。Shareing Economy(シャレによる経済活性)実現の第一歩となれば幸いです。

ワークショップ構成

- ◎ How to Share(シャレ) ダジャレノベーションの概要、事例、つくりかたについて。
- ◎ Let's Share (シャレ) ダジャレノベーションを実践します。

鳥巢智行

1983年、長崎生まれ。電通総研Bチーム所属。勝負の前にはカツカレーを食べる程度で、もともとダジャレリテラシーはそんなに高くはなかった。製菓会社とのプロジェクト「菓子リテーション」(お菓子を使ったファシリテーション)など、商品開発や事業開発の仕事に関わる中で、ダジャレとイノベーションの関係性に注目。研究・実践を重ねている。

津田和俊

1981年、岡山新庄村生まれ。かつて「東の箱根、西の四十曲(始終まがり)」と呼ばれた出雲街道の難所である。子供の頃に母親が車で出かける際に「気い付けて!」と言ったところ「キーを付けたと車は走らん!」と返ってきたことで目が覚める。これまでに、行間を越えて本の間をよむ「Book2Book」など。博士(工学)。山口情報芸術センター[YCAM] 研究員。

江波戸李生

1989年、東京生まれ。アートディレクター。広告制作のかたわら、ダジャレのような作品制作を日々制作している。オシャレを無駄にするTシャツ「mu-T&da-T」(2014)、寒さを無駄にするmuffler「mudaffler」(2015)。駄洒落の駄が好き。

4/9(sat) 15:00-18:00

6次元 <http://www.6jigen.com/>

〒167-0043
東京都杉並区上荻1-10-3-2F

参加費:1500円(駄謝礼つき)

予約:件名を『ダジャレノベーション』とし、名前、人数、電話番号、を明記の上、rokujigen_@yahoo.co.jp

